

## 重症心身障害児者の卒業後の進路について

(焼津市自立支援ネットワーク重症心身障害児者専門部会)

支援学校卒業後の進路について、藤枝特別支援学校、志太榛原圏域運営部会、推進部会、重症心身障害児者支援専門部会、焼津市重症心身障害児者支援専門部会に取り上げられています。

5月21日、藤枝特別支援学校より、肢体学級の生徒進路について、焼津市・藤枝市・島田市の市役所担当者、生活介護事業所が会して現状が報告されました。

現時点では3市において、高等部3年生の受け入れ先の確保が難しいという報告があり、志太榛原圏域内でも課題として挙げられたところです。

- ① 3市で重症心身障害者を受け入れている生活介護は、焼津（2事業所）、藤枝（2事業所）島田（2事業所）があり、定員オーバーしている事業所があり、受け入れ先の確保が難しい。
- ② 直近の問題として、高等部3年生（7名）高等部2年生（2名）、高等部1年生（7名）が控えている。
- ③ 藤枝特別支援学校において、面談等で、生活介護事業所の現状を伝えており、保護者も事業所見学等、情報を集めている。ただ、保護者は空き状況を正しく把握している訳ではなく、新規利用者の受入不可という事業所があることで不安が広がっている。

### 【 重症心身障害者の通所状況 】

現在、重症心身障害者の方が通われている事業所は、焼津福祉会生活介護ゆたか、インクルージョン志太生活介護アンティーク布花工房・沙羅の2事業所。その他生活介護事業所においても、脳性麻痺の方、車イスの方の利用はいる。

重症心身障害者（特に医療ケアの必要な方）の受け入れについては、看護師が常勤していることが必要であり、他の生活介護事業所が受け入れられない理由の一つである。

また、バリアフリーではないこと、車イスの方が移動できるようなスペースが十分ではないなどのハード面でも受け入れが難しいことが挙げられる。

### 【 藤枝特別支援学校（肢体学級生徒）の現状 】

(藤枝特別支援学校より情報提供 R3.7現在)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
焼津市	4	2				2	1	2	1	4	2	2	20
藤枝市	2		1	2			3	5	1	2		2	18
島田市				1		1	4		1	1		3	11
合計	6	2	1	3	0	3	8	7	3	7	2	7	49

### 【 課 題 】

焼津市に限らず3市をみると、中学部、高等部が多い状況で、直近の高等部3年生のみならず、中学部にも目を向ける必要があります。居住地内の資源だけでは足りないことから、志太榛原圏域で考えていかなければならない問題でもあります。

- ① 支援学校側の見立てと受け入れ事業所のミスマッチングを解消していくこと。(生徒の特性、適正を互いに知ること。事業所のサービス内容を知ることなど)
- ② 支援学校、行政、相談、事業所が連携しながら取り組むことの重要性。
- ③ 事業所が、将来的なことも見据えながら計画的に支援学校生徒の受け入れを行っていく。
- ④ ハード面の整備（車イスの方の対応できる事業所が少ない。また生活介護事業所の拡充）